

重要文化財（建造物）「徳善家住宅」の指定ならびに 「木村家住宅 隠居屋」の追加指定について

国の文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和元年10月18日（金）に開催された同審議会文化財分科会において、三好市西祖谷山村の「徳善家住宅」を新たに重要文化財に指定するとともに、同市東祖谷の「木村家住宅 隠居屋」を追加指定するよう文部科学大臣に答申しました。

（1）新指定

- 名称 徳善家住宅
所在地 三好市西祖谷山村
年代 慶応2年（1866年）
特徴 徳善家住宅は、祖谷山の西端「大歩危峡」近くに所在し、近世には祖谷をおさめる「祖谷人家」の一つとなった。
主屋は慶応2年の建築で、豊かな接客空間を居住空間とともに大きな屋根で覆う姿は雄壮であり、山岳地帯における上層農家住宅の発展した姿を示す建物として貴重である。

（2）追加指定

- 名称 木村家住宅 隠居屋
所在地 三好市東祖谷
年代 18世紀後期
特徴 木村家住宅主屋は、祖谷山で最古の住宅として、昭和51年に重要文化財に指定されている。
敷地にある隠居屋は18世紀後期の建築と推定され、祖谷地方の習俗である「別居隠居制」を示す建物として貴重である。



徳善家住宅



木村家住宅 隠居屋